

別添資料

中学校社会科歴史的分野における学習者の課題意識に基づく学習の充実に向けた研究

— 歴史的分野と公民的分野の連続性に焦点を当てた単元の開発を通して —

尾道市立瀬戸田中学校

加藤 寛崇

別添資料 1 ルーブリック

追究する活動についてのルーブリック（評価表）

プロセス	自己評価の項目	評価（C）	評価（B）	評価（A）	評価（S）
課題の設定	問いを立てる	問いを立てることができなかった。	問いは立てられたが、少し調べれば解決できるような問い、または、ばくぜんとした問いになってしまった。	深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。	自分自身の力で深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。
研究計画の立案	予定表の確認と実施	予定表を確認していなかった。	予定表を確認しながら進めたが、作業が遅れたことがあった。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。予定より早く進められたこともあった。
情報の収集と選択	さまざまな情報源の利用	問いを解決するのに必要な情報を選び取ることができなかった。	問いを解決するのに必要な情報を一つ選び取ることができた。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができたが、一つの情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができ、複数の情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。
情報のまとめ	情報のまとめ	複数の情報をまとめることはできなかった。	複数の情報をまとめることはできたが、結論を導くことや自分の意見を考えることができなかった。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。主張を裏付けるための根拠として不要あるいは重要ではない情報は選び取らなかった。
発表について	スライドやポスターの活用	文字の大きさや分量、配色などが見にくく伝わりにくい。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか一つは見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。順序や配置も工夫できた。
	伝え方	話し方が不明瞭で声に抑揚がなく、内容が伝わりにくい。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトやジェスチャーも取り入れている。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトも一定して行い、興味や関心を引くようなジェスチャーも活用している。

学習活動の評価	問いの解決と課題	問いを解決することができなかったが、反省点や次に取り組みたいことも十分に考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができたが、残された課題は何か考えることができなかった。	問いを解決することができ、理解を深めて、今後の課題を考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができた。今後の課題や新たな疑問、さらに調べたいことを考えることができた。
	学習過程の評価	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返ることができず、改善点を考えることができなかった。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたこと、または改善点の一つ考えることができた。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考えることができた。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考え、次の目標を決めることができた。

教科の学習についてのルーブリック（評価表）

評価 資質・能力	評価			
	評価（C）	評価（B）	評価（A）	
知識・技能				
思考・判断・表現	現代の社会に見られる課題について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、表現していない。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したことを表現している。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したり、その解決に向けて構想したりしたことを表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしていない。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしている。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、新たな疑問をもったり、ルーブリックや予定表を活用したりしながら主体的に追究、解決しようとしている。	